



新たな核酸アプタマーである「TAGX-0003」のドライアイ治療薬開発に 向けた製剤開発に関する共同研究開発契約締結のお知らせ

2023年12月11日

テイカ製薬株式会社

タグシクス・バイオ株式会社

テイカ製薬株式会社（所在地：富山県富山市、代表取締役社長 金岡克己、以下「テイカ製薬」という）及びタグシクス・バイオ株式会社（所在地：東京都目黒区、代表取締役 古関千寿子、以下「タグシクス」という）は、タグシクスが創製したDNAアプタマー「TAGX-0003」のドライアイ治療薬開発に向けた製剤開発に関する共同研究開発契約を締結しましたので、お知らせいたします。

参考：アプタマーとは特定の分子と特異的に結合することができる核酸やペプチドのことであり、近年、抗体医薬に代わる化学抗体として注目されています。DNA又はRNAで構成される核酸アプタマーは核酸医薬に位置づけられ、コロナワクチンとして注目をされたmRNAも核酸医薬のひとつです。

本開発品であるTAGX-0003は、タグシクス独自のプラットフォーム技術Xenoligo®により創製された、インターフェロン γ (IFN- γ)に対する強力な拮抗活性と高い特異性を有するDNAアプタマーです。マウスサロゲートアプタマーを用いたドライアイ動物モデルにおいて高い有効性が確認されていることから、TAGX-0003はシェーグレン症候群を含むドライアイ疾患に対して有効で安全な治療薬となることが期待されます。

この度、両社は本契約に基づきTAGX-0003のドライアイ治療薬としての点眼剤の治験薬製造に向けた製剤開発を進めてまいります。

・テイカ製薬の研究開発本部 執行役員である野村伸彦のコメント

この度、独創的な人工塩基対技術で世界的にも注目されているタグシクスが創製したドライアイ治療薬として期待される核酸アプタマー（TAGX-0003）の新たな点眼製剤の開発に取り組めることを大変うれしく思います。核酸医薬は、これまでの低分子医薬とは異なる特性を示すため、その対応が必須ですが、弊社としましては、これまで培ってきた点眼製剤化に関する様々な技術・ノウハウを駆使し、タグシクスと共に、新たなモダリティとして注目される核酸アプタマーの世界で初めての非侵襲性点眼製剤の開発に向け今後取り組んでまいります。



・タグシクスの代表取締役社長である古関千寿子のコメント

眼科の製剤事業での実績と近代化された素晴らしい眼科製剤製造設備を有されているテイカ製薬と共同研究できることを大変嬉しく思います。弊社の高機能 DNA アプタマーを製剤化していただき、アプタマーを世界で初めて点眼薬として開発することを目指します。抗炎症作用を有する、即効性のあるドライアイの治療薬として、なるべく早く多くの患者様の役に立てるよう努力してまいります。

【会社概要】

会社名：テイカ製薬株式会社

所在地：富山県富山市荒川一丁目3番27号

代表者：金岡克己

Website：<http://www.teika.co.jp/index.html>

テイカ製薬は、創業より70年以上に渡り研究開発型の医薬品メーカーとして事業を進めてまいりました。特に点眼剤、軟膏剤の製剤開発に注力し蓄積された技術により、ベンチャー企業や製薬会社との共同開発も積極的に推進しています。

【会社概要】

会社名：タグシクス・バイオ株式会社

所在地：東京都目黒区駒場四丁目6番1号 東京大学駒場オープンラボラトリー403

代表者：古関千寿子

Website：<https://tagcyx.com/>

タグシクス・バイオは、独自の創薬プラットフォーム技術 Xenoligo®を用いて人工塩基を導入することで、高い標的特異性やミニヘアピン技術による血中安定性といった特長を有する DNA アプタマーを含めた高機能な核酸医薬品や医療機器の創出を目指す東京大学理化学研究所発の研究開発型の創薬ベンチャーです。

Xenoligo®は TAGCyx Biotechnologies Inc.によって登録された商標です。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

テイカ製薬株式会社

研究開発本部 野村伸彦 Tel: 076-431-8882, e-mail: n-nomura@teika.co.jp

事業開発本部 松葉俊宏 Tel: 076-431-1717, e-mail: t-matuba@teika.co.jp

タグシクス・バイオ株式会社

管理部 Tel: 03-6407-1672, e-mail: info@tagcyx.com